

町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地1
電話：74-0212 FAX：74-0105
E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

番組も地域も私たちがつくり上げるもの

▼第8回おしどり学園



▲住民参加の番組づくりを呼び掛ける吉川さん

12月20日、第8回おしどり学園を開きました。
今回は、「地域情報発信テレビ」と題し、株式会社サテライトコミュニケーションズネットワーク事業開発室長の吉川耕平さんが講演を行いました。同社は、町独自の地域チャンネルである「チャンネルひの」を制作していることでおなじみの会社です。

チャンネルひのは、2018年5月に開局。以来、

まちの出来事や話題を伝える「週刊ひのニュース」をはじめ、特別番組や議会中継、ライブカメラ、文字放送、緊急情報などを随時発信しています。

特筆すべきは、チャンネルひのがサイマル（同時並行放送）を行っていること。これは、ケーブルテレビのほか、パソコンやスマートフォンから番組を視聴できることを指します。過去の番組はもちろん、世界中で視聴可能であり、NHKよりも先行して行っている取り組みなのだそう。吉川さんは、このほかにも放送の仕組みや映像作りについても詳しく説明しました。

番組や放送を通し、「テ

レビを見ている人にも参加してほしい」「一緒に感じて考えてほしい」「行動のきっかけにしてほしい」と吉川さん。学園生らに、「カメラ取材でのインタビューにも積極的に答えて」と呼び掛けていました。

最後に、吉川さんは、「皆さんの感じたことや考えたこと、困ったこと、驚いたことなど何でも教えてください」と呼びかけました。録し、発信し、みんなで感じ、考えましょう。そして、それを町の財産にしていきたいと思います」と締めくくりました。

地域に密接したチャンネルひのは、地域活性化のヒントになり得る重要なアイテムの一つといえます。それを私たち住民一人一人が主人公となって育てていく。皆さんも番組づくりに参加し、魅力的な町にしていきたいと思いますか。

地域に広がる学習活動

▼黒坂2区自治会で出前公民館

「ペーパークラフト教室」
千支の鼠（ネズミ）を折ってみよう

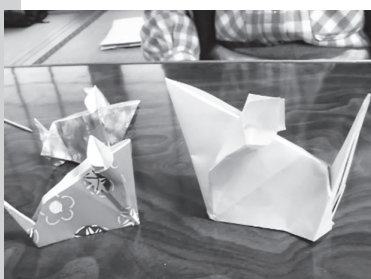
1月20日、黒坂2区集会所で、出前公民館「ペーパークラフト教室」を開きました。講師は、町公民館の柿本史子職員が担当。折り紙を使って、今年の干支である「鼠（ネズミ）」を折りました。

最初はなかなか上手いかず四苦八苦する姿も見られましたが、お互いに教え合い笑顔がのぞく様子も。予定より時間はかかったものの、和やかな雰囲気の中、素晴らしい出来の折り紙を完成させることができました。



〈ご案内〉役場黒坂支所（町公民館）の窓口付近に、とても小さい鼠の折り紙を展示しています。こちらもぜひ、ごチェックください。

▶色とりどりの折り紙が並ぶ。どの色にしようかしら？▼カラフルな鼠の折り紙の完成！縁起の良い一年になりそう



税金の役割とは―。大人の租税教室

▼第9回おしどり学園



▲暮らしの中の税について話す河津さん

津さんは、「公共サービスなどの利用料を徴収できないとすれば、これらの費用をどうまかなえばいいのでしょうか」と問いかけました。

また、税をめぐるこれまでの歴史を振り返り、「代表なくして課税なし」という言葉が生まれたアメリカ独立戦争や、福沢諭吉の「学問のすゝめ」に書かれている「税金とは国民と国との約束である」の一文を紹介した河津さん。税について一緒に考えましょうと学園生に呼びかけました。

1月17日、第9回おしどり学園を開きました。
今回は、「税金と暮らし」税の知識を広めよう」と題し、鳥取県西部県税事務所課税課の河津久志さんが講演を行いました。

納税は憲法で定められている私たちの義務です。では、私たちの生活に「税」はどうかかわっているのでしょうか。

私たちの身の回りには、国や県、町による公共サービスや公共施設があり、それを提供するためには、たくさんの方々の費用がかかります。河

そして、「税金」とは何か。なぜ「税金」が必要なのか。なぜ「納税の義務」が憲法に定められているのかを順序立てて説明していきま

最後に、「豊かで安心して暮らせる未来のためには、公平な租税負担と給付の関係について、私たち一人一人が考えることが大切です」と河津さん。学園生らは、税金をめぐる歴史や税金と暮らしの関係性について学び、あらためて納税の意味について考える良い機会となったようです。

子どもたちの安全のために

▼町青少年育成会がパトロール



▲安全を確認しながら巡回する会員

冬休みの期間中の12月26日、町青少年育成会の会員12人で、街頭指導パトロールを行いました。

この日は、根雨から野田地区の学校周辺を巡回。冬休み期間中の小中学生の帰宅時間である午後5時に防災行政無線で町民歌「きらりこの町」が流れるとパトロールを行い、外出している小中学生に指導したり、高校生にはこちらからあいさつをしたりして、青年の見守り活動を行いました。青少年育成会では、今後も子どもたちの成長や安全を見守っていききたいと思えます。

ふるさとのことば

～日野弁なんずかんず～ 第79回

「へいはぎ祭り」とは？

～地域に残る風習・行事～

皆さんの地域で「へいはぎ祭り」と呼ばれる行事が行われていますか？聞きなれない名前ですが、「へいはぎ(祭り)」とは、地域住民が集まって御幣を作り、荒神さん(台所の神様)や秋葉さん(火の神様)など、地域の守り神に供えるというもの。町内でも、三谷や貝原、門谷など、いくつかの集落で続けられています。

ここで気になるのは、やはりその変わった名前由来。「へいはぎ」はやはり御幣のこと

協力：日野町歴史民俗資料館友の会